

# 商業施設新聞 掲載のお知らせ

平成 24 年 11 月 20 日付商業施設新聞に、11 月 8 日に発表しましたアイゼットの新品「リ・ライト オメガ」に関するの記事が掲載されましたのでご案内致します。

## メーカー・店舗関連

### インタビュー



アイゼット 代表取締役社長 林邦男氏

### 林邦男氏

アイゼットは、省エネ照明器具メーカーとして、これまで光源を適心となく、特徴を教えている。反射板を搭載しているため、現状使用している40Wの蛍光灯と同等の明るさを表現する。消費電力は32Wで、40Wの蛍光灯と比較して約82%節電し、他社のLED照明と比べても最大で20%近く節電できる。

### 従来のLEDよりも省エネ

従来のLEDよりも省エネ

## 反射板を使用したLEDベースライト

### 光源1つで蛍光灯2灯分の明るさ

高性能反射板搭載の省エネ照明器具を製造・販売するアイゼットは、LEDと反射板を一体化させた省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

光源と組み合わせて一部商品化しているが、LEDは光が広がり、反射板の効果を生かさない面もあった。そこでアイゼットは、LEDの特性を生かせる照明器具を作ろうと思った。

形状も特徴的です。LEDベースライトを器具に直接取り付け、光源と器具が一体化している。この一体化の方法が形状は特許出願中であり、2013年5月又公開される予定だ。

従来の蛍光管比べ発光面が約2倍あり、反射板の反り効果と相まって光源が複数しやすくて体感的に明るく感じる。さらに反射板に放熱性の高いアルミを使用しているため効率的に放熱できる。これにより熱がこもらず、器具の寿命が長い。また、今回のリ・ライト オメガは本製品の総高さを抑え、お客様の設置に合った様々な提案をさせていただいた。

そのほかにも器具のLEDの代替となる製品なども13年夏までに発売する計画だ。従来の高性能反射板付き蛍光灯器具もニーズが高まっているので、お客様のニーズに合った様々な提案をさせていただいた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

省エネ照明器具「リ・ライト オメガ」を11月8日に発表しました。「日本で最も明るさ」をコンセプトとして多くの導入事例をもつ蛍光灯器具「リ・ライトシリーズ」の特徴を継承したこの製品は、反射率94%の高い反射板と同等の明るさ・配光を実現した。同社代表取締役社長林邦男氏に、新製品や今後のロードマップについて聞いた。

を開発した。LEDは蛍光灯と比較して直進的に光が進む。その欠点を十分に補っていた。結晶樹脂の結晶、蛍光灯と同等の広い配光を実現できる反射板を開発できた。すでに関東にデモ店を出し、お客様にアイスカウントダウンを展開する企業の本社事務所で設置しているが、明るくなったと評価をいただいている。横にも光が広がる。また、



リ・ライト オメガ

代理店であるサンテレビジョンの協力の下、レンタル提案も可能にした。基本的に初期負担ゼロ導入でき初月よりコストダウンを実現。且つオフバランス及び経費処理も可能と云々。

今後の製品展開は、今300ルーメンの製品を発売したが、13年春からは400ルーメンタイプも販売予定している。オフイスの省エネを求めるとは300ルーメンタイプを提案し、商業施設の様に明るさを求める場合は400ルーメンタイプを提案するなどお客様に選択していただけた。

本社(長野) 〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1  
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800  
東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F  
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805  
福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎田ビジネススクエア  
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182